

【令和2年7月度番組審議会 議事録】

1. 開催年月日 令和2年7月31日（金） 15時00分～16時00分
2. 開催場所 八尾市文化会館プリズムホール 4階 会議室3
3. 委員の出席
番組審議委員総数 5名
出席委員数 4名
欠席委員数 1名

放送事業者 社長 根木 幸男
総務部長 比良 純高
業務部長 鈴木 昌宏
総務 村田 季世子
八尾市市政情報課 課長 北村 知美
課長補佐 牧野 晃
4. 議題 「こどもみらいポスト」
5. 番組概要 放送日：令和2年7月2日（木） 20：00 ～ 21：00

番組について 放送形態

事前収録番組

この番組は、7月からスタートしたFMちゃおリーディングキャンペーン「子どもを守る・命を守る・未来を守る」と連動した企画です。

コロナ禍の大きな影響もあり、すべての人々が翻弄されストレスを抱える中で、一番弱い子どもたちに大きな負担をかけている状況を、地域の見守り団体などと広く連携して問題を取り上げ、何も言えずに我慢しているこどもたちが、言いたいことを自由に言える、伝えられる枠組みのひとつとして企画いたしました。現在、低年齢層でもSNSをベースにした誹謗中傷、いじめ、仲間外れなどが大きな問題になっています。悩みを抱える当事者（子どもたち）から、声を引き出すひとつのチャンネルとして役立てたいと考えています。

6. 審議委員からの意見

委員：・テーマを設けてのサークル活動のプログラムがもう少し知りたかった。サークルへの参加の呼びかけがあってもよいのではないかと。

・サークルでは子供達にどう働きかけているのか・具体的な取り組みの紹介があればよかった。

委員：・「CAP」の説明が長かった。子供が対象だとすれば説明などが多くて途中でチャンネルを変えてしまうような進め方だと思った。

・いじめで苦しんでいる小・中学生が親しみやすい番組になればいいと思う。

- 委員：・難しい先生が喋っているのではなく普段ママ友と喋っているようなやさしい感じが身近で、地域の放送としては、隔たりをなくしていることがよかった。
- ・内容が団体の紹介に偏り過ぎていて、子供の声がなかった。タイトルが「こどもみらいポスト」となっているが、子育てをしているお母さんに寄り添う番組となっていた。
 - ・雑談のようになってしまっているところがあったので、原稿の準備をしておくことも必要ではないか。

- 委員：・団体の活動の内容がわかってよかった。
- ・出演者の話し方が上手すぎず、下手すぎずちょうどよかった。
 - ・サークルへの積極的な誘いがなかったのがよかった。
 - ・大人に対してなのか、子供に対してなのか、ターゲットがわからなかった。回によってターゲットをしっかりと絞っていくことが必要ではないか。

- 委員：・出だしの前説に重苦しさを感じる。番組の雰囲気は暗くなっているように思った。
- ・出演者の紹介でニックネームを使っているが仲間内の放送ではなく公共放送なので本名をお願いします。
 - ・折角の放送なので、「NPO法人KARALIN」「CAPプロジェクトやお」の連絡先の電話番号を紹介してはいかがでしょうか。
 - ・それぞれの団体にする相談する場合はトラブルを避けるため、無料か有料かをはっきり告知しておいた方がいいと思います。

- 市政情報課：・市民活動をされてる団体さんが番組を通して皆さんが共によくなっていけばと思う。
- ・今後、ターゲットを絞っていきつつ、ちやおも一緒に成長していただけたらと思う。

本日お聞かせいただいたご意見を受け止め、今後もより良い番組作りに努めて参ります。

7. 公表方法

今回開催された番組審議会内容は、公式HP掲載をはじめ、自社放送内広報および本社事務所へ閲覧用ファイルを設置いたします。